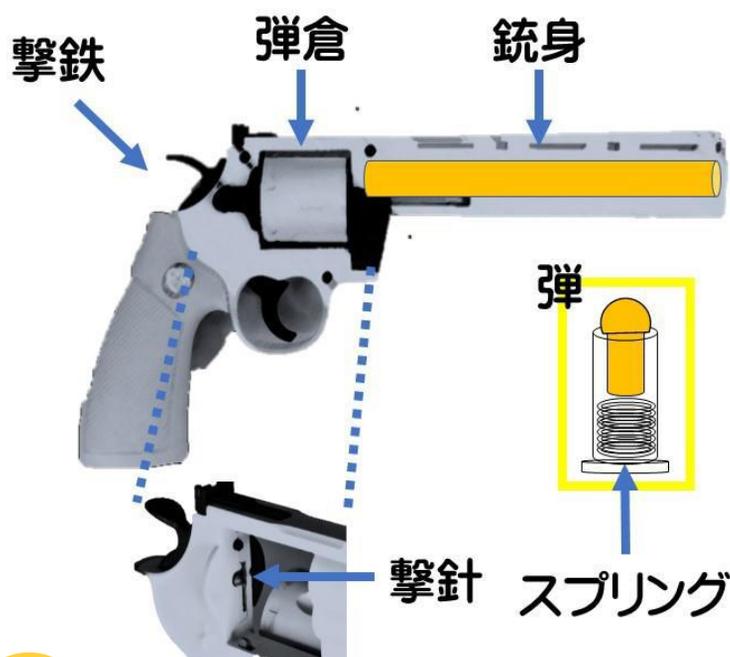


玩具と称した拳銃について

以下の特徴を有する玩具拳銃は、銃刀法上の「拳銃」に該当し、所持すると銃刀法違反に問われるおそれがあります。



玩具と称した拳銃の特徴



ポイント

- ①銃身、弾倉ともに実包が装てん可能な大きさ(1cm以上)
- ②撃鉄、撃針を有し、雷管を叩くことで弾丸が発射される
- ③スプリング式の構造

違法の可能性

- ✓ 銃身、弾倉ともに実包が装てん可能な大きさである(約1cm)
- ✓ 実包の薬莖に模したプラスチック型の弾が付属している(※ 弾の中には、スプリングが内蔵されており、スポンジ・プラスチック製の弾頭を飛ばす仕様)
- ✓ 撃鉄、撃針を有し、撃針(雷管を叩く針)が弾の雷管(実包の後端部)を叩くことで弾丸が発射される構造である
- ✓ 実在する拳銃がモデルとなっているものが多い

Check!
👉